

令和元年度 第1学期 終業式

第1学期が終了しました。保護者の皆様には、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただきましたことに心より感謝いたします。すべての生徒が、健康で安全な思い出に残る夏休みを送ってほしいと思います。第2学期の始業式には一回り成長した生徒たちに会えることを願っています。

終業式における各学年の代表生徒の作文を紹介いたします。



第1学期を振り返って

中学校に入学してから、4カ月がたちました。常澄中学校の生徒の一員となり、あっという間に1学期が終わろうとしています。小学校では1クラスだったのが、3クラスとなり、友人が増えました。5月の宿泊学習では、普段は気付かなかった友達の良さに気づき、レクリエーションを通してクラスの絆を深めることができました。

学習では、新しく学習する教科が増え、勉強も難しくなりました。初めての定期テストは、小学校とは違い、範囲も広がったので、勉強するのが大変でした。また、授業も難しくなり、授業に集中できなかつたり、分からないところをそのままにしてしまうこともありました。

部活動では、男子バスケットボール部に入部し、勉強と部活動の両立をすることに苦労しました。

改めて1学期を振り返ると、楽しかったこともありましたが、初めてのことばかりで悩んだり、できないこともあり、反省が多かったように思います。2学期は、体育祭や文化祭など、行事もたくさん待っています。これから迎える夏休みを有意義に過ごし、2学期は何事にも真剣に取り組み、最後まであきらめずに粘り強く取り組んでいきたいと思っています。

1年 大和 龍河さん



式に先立ち、吹奏楽部による中央地区コンクール演奏曲「明日へ吹く風」の発表を行いました。練習の成果が表れた素晴らしい演奏でした。7月28日(日)のひたちなか市文化会館における中央地区コンクール、是非心に残る演奏を披露してほしいです。

第1学期の反省とこれから

2年 黒澤 修太郎さん

僕の1学期の反省について、先ず良かったことは、中間テストで点数が下がってしまったけれども、期末テストではしっかり挽回し点数を上げられることです。中間テストでは悪い点数をとってしまったのでこのままではまずいと思い学校や家で集中して勉強をしたことが良かったのだと思います。



悪かったことは、学級委員としての役割を果たせなかったことです。クラスで授業中やそれ以外の静かにしなくてはいけない場面でも注意することができなかつただけでなく、自分自身も騒がしくしてしまいました。注意することよりも、友達としゃべることの方が楽しいと思い、弱い自分に負けてしまい注意することとしゃべることのどちらが正しいのかを見極めることができませんでした。

2学期は、集中して勉強に取り組むなどの良かったことを継続していきます。そして、1学期にできなかったことを反省し、クラスが騒がしい時には注意して学級委員としての役割を果たしていきたいです。さらに、部活動でも強いだけでなく礼儀正しいチームをみんなで作っていきたいです。

第1学期を振り返って

3年 鈴木 優里花さん

私がこの1学期にがんばったと思うことは部活動と勉強面の二つです。

一つ目の部活動では、夏の総体に向けて部のみんなで一生懸命やりきることができたことです。私は、ソフトボール部に所属していました。私たちの目標は県大会に出場することでした。しかし、結果は中央地区敗退で、目標を達成することはできませんでした。その理由は、日々の練習を甘く行っていたところがあるからだと感じています。けれども、最後の総体ではみんなで一丸となり、力を出し切って戦うことができたので良かったと思います。



二つ目は勉強面です。今年、私達3年生には高校受験があります。去年までは、中間テストや期末テスト、部活動のことだけを考えて日々の生活を送っていました。しかし、3年生になり、テストが増え、夏の高校見学の見学先を親と話し合ったり、志望校を決めたりしなくてはいけなくなり、少しずつ受験への気持ちが近づいてきた気がしました。テストがたくさんあることにより、その結果をもとに、自分の学力はどのくらいなのか、どこの高校に行くことができるのかなど、自分の志望校を考えることができました。今後は志望校に向かって計画的に勉強を進めていけるようになりたいです。

その上で、2学期は、体育祭、合唱祭など、行事がたくさんあります。私達3年生にとっては中学校での最後の行事になります。「みんなで最高の思い出がつかれるように楽しむときは思い切り楽しむ、勉強するときはきちんと切り替え、メリハリをつけて生活する。」そんな風に過ごすことで、有意義な中学校生活を送っていきたいと思います。

